

OEC ニュースレター

～ 自然と環境の保全は足元から ～
特定非営利活動法人 おきなわ環境クラブ (OEC)

vol.29
2017年12月発行

【1面】

- ・那覇市緑化センターへ「達人デリバリー」
- ・国場川で水辺の緑化活動

【2面】

- ・ワンギ★ワンギ島通信 No.2
- ・サポーターの声:「東村観光推進協議会」
- ・アマゾン初体験! JICA研修フォローアップ

【3面】

- ・マングローブのつぶやき ～その11～
- ・JICA研修『島嶼観光持続性強化』『熱帯・亜熱帯におけるエコツーリズム企画・運営』
- ・第3回おきなわエコツーリズムセミナー

【4面】

- ・活動実績
- ・活動予定
- ・お知らせ
- ・サガリバナ観賞会2017アルバム

トピック① 那覇市緑化センターへ「達人デリバリー」

環境学習や自然体験プログラムを実施したい地域の団体、学校などに講師を派遣してサポートする「達人デリバリー(出前講座)」。今年度は、6月から那覇市緑化センター主催の緑化推進講座に講師を派遣している。

この講座は植物や緑化に関する講話や実習を行うもので、OECでは月に1～2回講師を務めている。これまでに「サガリバナの育て方講座」や「種の標本作り」、「折り染め体験」、「草木染めの色見本作り」など、沖縄の植物を使った体験講座を実施し、未就学児から年配の方まで約80名が参加した。

出前講座は、他の団体のイベント参加者とのめぐり逢いの機会でもある。毎回、どのような方と会うことができるのか楽しみだ。

「生き物観察をしたいけど、詳しい人がいない」、「自然と触れ合う体験をしたいけど、どうすれば良いかわからな

い」など、活動に際してお困りの時には、ぜひご連絡を!

詳細は、OECホームページの「体験メニュー」をご覧ください。www.npo-oec.com/CSR_dema.html

(主任研究員 平山加奈子)



「折り染め」で作った作品と一緒に記念撮影

トピック② 国場川で水辺の緑化活動

おきなわ環境クラブでは、国場川の右岸(古波蔵側ジョギングロード沿い)と左岸(鏡原側遊歩道沿い)で緑化活動を実

践している。今年度はスタッフによる除草作業のほか、参加者を募った緑化活動やワークショップを開催している。

右岸では、ヒメキランソウなどの植栽や除草を中心に作業を行い、心地よく園内を散策できると公園の利用者にも喜ばれている。また左岸では、ツブキロードの除草作業などのほか、水辺植物の観察や種探しのワークショップ、干潟の生き物観察を行い、楽しみながら水辺の自然と触れ合う

機会を提供している。

雑草の勢いが弱まる冬は整備作業にうってつけで、冬鳥などの観察も楽しめる絶好の季節である。12月以降も定期的に両岸で活動する予定なので、ぜひご参加ください。

次回活動予定

【日時】12月16日(土)10:00～12:00

【集合場所】漫湖水鳥・湿地センター

【内容】

- ・ツブキ苗の植栽
- ・植栽地の除草
- ・漫湖の冬鳥観察

(主任研究員 平山加奈子)



川岸の生き物を観察中

ダイバー秘境 ワンギ★ワンギ島通信 No.2 JICA草の根プロジェクト@インドネシア・ワカトビ海洋公園

ワカトビは雨季になりましたが暑さ真っ盛りです。プロジェクトでは、7村の間取り調査を何とか終え、8月2日に住民グループを結成しました。早速、直後の観光専門家の現地調査で各自に村の観光資源を紹介してもらいました。そして、9月にメンバーを沖縄研修に送り出しました。途中乗り継ぎが不安でしたが、英語ができる観光局のアワルさんのおかげで全員無事に那覇に到着しました。本邦研修の間、当地ではJICA専門員と中央大学の学生の視察訪問を受け入れ、さらに滞在ビザ更新のため一時出国。研修後は、立田マネージャーと村調査やグループとの今後の活動について具体的な計画づくりをしました。



やる気満々、ロンガ村のジャカ

グループ最年少のジャカ君(18才)は、沖縄で刺激を受けて新作のお土産を沢山作っています。もう一人の若手デオ君は、持ち前の英語力を活かし、地域の英語ガイド育成を目標にしたようです。

北風知らずのワカトビより(研究員 山本朝子)



英語ガイドを養成したいワエルム村のデオ

トピック③ サポーターの声：「NPO法人東村観光推進協議会」

東村観光推進協議会は、東村の観光案内をはじめ、地域と連携して教育旅行民泊やエコツーリズム、漁業体験や海洋体験など、来訪者と地域の人とを結ぶ活動を行っている団体。



ワカトビのヘンドリさんと固い握手を交わす小田さん(写真左)

事務局長の小田さんとは、当クラブが受託したJICA研修で、東村の民泊やツーリズムのプログラムの視察したことをきっかけに出会った。

「JICA研修を通して様々な考え方を持つ研修員たちとの出会いに刺激を受けています。素晴らしい出会いをありがとうございます。」と小田さん。

地域の素晴らしい環境を地域の人と共に保全しながら多くの来訪者と地域の人を結び、共に活躍できる時間と場の共有を目指している同会とのつながりを今後どのように展開できるのか楽しみだ。

(研究員 高嶺正満)



報告① アマゾン初体験！JICA研修フォローアップ

会長の下地と事務局長の立田が、JICA研修フォローアップ調査団のメンバーとして、10月14日～23日の日程で、南米エクアドル内陸のパスターサ県を訪問した。

OECは、2010年からラテンアメリカ諸国を対象にエコツーリズムの企画・運営のJICA研修を実施しているが、今回は



サイクルツアー体験

2014年、2015年に同研修を修了したパスターサ県の職員2名のその後の活動を支援することが目的だった。

エクアドルといえば、ガラパゴス諸島が有名で、アマゾンというイメージがないが、アンデス山脈を越えて内陸に入るとアマゾン川の源流域が広がっている。

到着した日に雨季が始まったようで、



美しい村の踊り子に出迎えられてぬかるみを歩いた疲れが吹っ飛ぶ。藤村氏(左)と会長の下地(右)

連日の雨だったが、同行した沖縄輪業の藤村氏の素晴らしい晴れ男効果で、アマゾンのコミュニティ観光やサイクルツアーの体験調査を無事に行うことができた。最終日の国際セミナーには140名を超える人が集まり大盛況だった。(事務局長 立田亜由美)

コラム マングローブのつばやき ～その11～ ポンペイの世界遺産とマングローブ

今年1月19日～25日の1週間、ミクロネシアのポンペイ(ポナペ)でJICA『ミクロネシア3国水衛生管理コース』の現地(在外)研修を行った。その期間中に世界遺産のナン・マドール(Nan Madol)を視察した。この遺跡の城壁は、火山のマグマがゆっくり冷えて固まってできた玄武岩で造られている。サンゴ礁で囲まれた島で、礁池(ラグーン)と呼ばれるリーフ内側の浅瀬に、ここの近くで採れる玄武岩を積み上げ、その内側にサンゴの礫や砂を詰め、水路で隔てられた多数の小さな人工島が造られたといわれる。

今から約1,000年も前に造られたこの遺跡は、台風や風波、潮流など、長年の自然作用により水路にシルトや砂が堆積した。今、浅くなった水路にはマングローブが茂り、石積みの城壁に陸生の植物がはびこっている。このため、2016年の世界遺産リスト登録と同時に、植物の繁茂による遺跡保存の脅威から『危機遺産リスト』にも登録された。

南国ポンペイの巨石記念物ナン・マドールで起きているマングローブの繁茂や城壁での陸生植物のはびこり、そして沖縄で見られる国場川河口域でのヒルギの広がり、首里城や中城城跡の石積みにはびこるガジュマルやアコウ、イヌビワなど、遺跡とマングローブについて、保全のあり方が問われている。(会長 下地邦輝)



人工島は水路で隔てられている



マングローブの繁茂



玄武岩の城壁

報告② JICA研修『島嶼観光持続性強化』『熱帯・亜熱帯におけるエコツーリズム企画・運営』



竹富島で民具づくり体験(島嶼観光コース)

いて学んだ。

9月25日～11月24日の9週間、中南米の国々からの研修員10名を対象に、JICA研修「エコツーリズム(略称)」コースを実施した。沖縄を飛び出し、富士宮での研修では書道、そば打ち、祭りなど日本文化を体験した。

(事務局長 立田亜由美)

7月3日～8月18日の7週間、カリブ、大洋州、アフリカの島々からの研修員6名を対象に、JICA研修「島嶼観光持続性強化」コースを実施した。沖縄の地域の資源を活かした観光を体験する実習や講義を通して、顧客満足度を上げるにはどうしたらいいのか、インバウンド客数を増やすには何が必要かにつ



富士宮で書道体験(エコツーリズムコース)

報告③ 第3回 おきなわエコツーリズムセミナー

9月30日に、自然と文化を活かした体験ツアーづくりに携わる横山昌太郎氏(無双地図株式会社 新記号事業部長)を講師に迎え、「非観光地でのツアーづくり」をテーマに、エコツーリズムセミナーを開催した。参加者は、

飛び抜けた資源がなくても地域に根差したオリジナリティのあるツアーづくりが可能とのお話しに大変興味深く聞き入った。

(主任研究員 川上典子)



セミナーの様子



国際セミナーで発表する会長の下地

活動実績 (2017年6月～2017年11月)

【地域活動】

- サガリバナ勉強会 首里崎山町:6/17(土)
- サガリバナ観賞会
 - ①国場集落:6/24(土)
 - ②首里崎山町馬場通り:7/1(土)、2(日)
 - ③末吉公園:7/8(土)、9(日)
- 自然と環境の学習の場創り事業
 - ①緑化活動@漫湖公園:北岸7/15(土)、北岸9/16(土)、南岸10/7(土)
 - ②水辺講座@漫湖水鳥・湿地センター
 - ども自由研究教室①7/27(木)
 - ども自由研究教室②8/3(木)
 - マングローブは漫湖に必要か?:11/4(土)

●出前講座

- ①緑化推進講座@那覇市緑化センター
 - サガリバナの育て方講座①:6/17(土)
 - ども自由研究教室①7/8(土)
 - ども自由研究教室②8/12(土)
 - サガリバナの育て方講座②:8/12(土)
 - “折り染め”で作るインテリア:9/24(日)
- ②みどりの講演会:7/28(金)

●第3回おきなわエコツーリズムセミナー:9/30日(土)

●イベント出展

- ①県民環境フェアinなご:10/8(日)
- ②おきなわ国際協力・交流フェスティバル:11/18(土)

【国際協力】

●受託事業

- ① JICA研修員受入事業:課題別研修
 - 島嶼観光持続性強化:7/3(月)～8/18(金)
 - 熱帯・亜熱帯におけるエコツーリズム企画・運営:9/25(月)～11/24(金)
- ②JICA草の根技術協力事業「南東スラウェシ州ワカトビ県における地域に根差した環境保全型観光開発の推進」:3/15(水)～2020年3/31(火)
- 専門家派遣:エクアドル国「熱帯・亜熱帯におけるエコツーリズム企画・運営」コースの帰国研修員フォローアップ:10/14(土)～10/23(月)

活動予定 (2017年12月～2018年5月)

【地域活動】

- 自然と環境の学習の場創り事業
 - ①緑化活動@漫湖公園:南岸12/16(土)、以降開催予定未定
 - ②水辺講座:3月実施予定
- 出前講座

- ①緑化推進講座@那覇市緑化センター
 - はじめてのクリスマスリース作り:12/17(日)
 - 以降、3月まで毎月開催予定、内容未定

●イベント出展

- ①第23回 国場川水あしび:12/16(土)
- 第3回おきなわ水環境セミナー:2月実施予定

●OECバスツアー:3月実施予定

【国際協力】

●受託事業

- ①JICA研修員受入事業:課題別研修
 - 「島嶼水環境の保全と管理」:1/15(月)～3/9(金)

お知らせ

会員・ボランティア募集

入会申込はホームページからお願いします。緑化活動をお手伝いして下さるボランティアを随時募集しています。お気軽に電話やメールでご連絡ください。



達人デリバリ- (出前講座) ミライ・プロジェクト (団体受入)

お申込み・お問い合わせはこちらまで!

TEL 098-833-9493

E-mail gyomu@npo-oec.com

サガリバナ観賞会2017アルバム

6月下旬～7月上旬に実施したサガリバナ観賞会。国場、首里崎山町、末吉公園で実施した。今年の様子を写真で紹介する。



満月とサガリバナ(末吉公園)



早くからにぎわった(首里崎山町)



一番人気の木(末吉公園)



解説をする高嶺研究員(首里崎山町)

特定非営利活動法人 おきなわ環境クラブ



〒902-0075

沖縄県那覇市国場370番地307号室

TEL 098-833-9493

FAX 098-833-9473

ホームページ

<http://www.npo-oec.com>

e-mail kokuba@npo-oec.com

www.facebook.com/OkiEnv

